

## 7 逢瀬公園・県総合緑化センター(郡山市)



### 環 境

郡山市の市街地西部の逢瀬町河内にある32.5haの面積(後樂園球場の6倍)をもち、ひとつの山が総合緑化センターと逢瀬公園になっている。緑化センターは、植物の見本園として整備され、花木園、湿性植物園、ケヤキ林、トチノキ園、ブナ林、クリ・コナラ林、松・杉林、シャクナゲ園、教材樹木園、薬用植物園、サボテン園やその他の施設があり、一日見て歩いても飽きない。東側の約半分が逢瀬公園となっており、もともとあった樹木と地形をよく残して造られている。マツ、スギなどの針葉樹とサクラ、カエデなどの落葉樹や灌木が適度に分布し、起伏のある地形と相まって野鳥の生息環境として大変よいものになっている。

### 季 節

春、サクラの花が咲くとメジロやヒヨドリが集まり、くちばしの根元を花粉で黄色くさせ、花の蜜を求め忙しく飛び回っているのが見られる。サクラの時期が終わると、いよいよ夏鳥の到来だ。日本の暖かい地方で冬を越した鳥や南の国で冬を越した鳥たちが次々に飛来する。キビタキ、オオルリ、サンコウチョウ、ミソサザイ、ビンズイ、センダイムシクイ、ヤブサメ、イカル、カッコウ、ツツドリ、ツミ

など多くの野鳥が観察されている。中でも1994年には、近年減少傾向にあるコサメビタキの営巣が確認されたことは、私たちを大いに喜ばしてくれた。秋から冬にかけては、夏ほどの華やかさはないが、しかし木の葉も落ち、野鳥の姿はぐっと見やすくなる。メジロ、シメ、ウソ、ジョウビタキ、キクイタダキ、アオジ、ミヤマホオジロ、アトリ、カシラダカ、アカゲラ、アオゲラ、カケスなどが迎えてくれる。

シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、コゲラ、キ

ジバト、キセキレイなど一年を通して見られる鳥も多く生息している。

### 交 通

JR郡山駅より福島交通バス河内(こうず)行で40分、「緑化センター前」下車。車利用の場合は、駐車場は緑化センター入口(西口)と逢瀬公園口(東口)にある。

